

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年3月18日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備(C)からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(C)吸着塔6C入口pH計ラック漏えい警報が発生。 現場調査の結果、サンプルポンプ入口弁フランジ部とサンプルポンプ出口配管フランジ部から系統水が漏えいしていることを確認。 漏えいした水は堰内に溜まっており、外部への影響はない。 原因については、次の通り。 ①吸着塔交換作業後に、pH計サンプル出口弁を「開」すべき操作を失念し、「閉」のままであった。 ②pH計サンプル出口弁が「閉」状態のまま既設多核種除去設備(C)系を起動したため、ポンプが締切運転となり、過剰な圧力がかかっている状態で通水を開始したため漏えいが発生。 今後、詳細な原因調査および再発防止対策を実施予定。</p>	GⅢ	3月13日
2	<p>【構内バス移動中の協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が入退域管理棟より構内バスに乗車し座席に座ろうとした際にバスが発車してしまい、よろけて椅子に右手をつき負傷。 救急医療室にて、右前腕の痛みとしびれと診断。</p>	GⅢ	3月16日